

# 朝倉とともに2019.11.30

防災士 朝倉災害支援ボランティア活動センター

代表 天野 時生 副代表 橋本 康弘



## 第38号

九州北部豪雨で亡くなられた方々にお見舞い申し上げますとともに早期の復旧・復興を祈念します。

## 朝倉志波柿農家支援プロジェクト

被災後、豊作となった志波富有柿は農園内の柿の樹にたわわに生り、喜びの声を上げながら収穫を行った。

樹の中には70年を超える巨木もあり、今も現役で多くの実をつけている。



「爺さんが植えたもの」と三世代にわたって大切に築いてきた柿農園の歴史を噛みしめながらひとつひとつ柿を摘んで行った。青空に映える柿色は朝倉復興への希望であり、想いがぎっしりと詰まっている。



## 復興支援を継続

柿の収穫は安定してきたものの、朝倉全体として特に山間地域ではまだ復興は途上にある。柿農園周辺の山肌は土砂崩れの跡が残っている。また、河川では改修工事が進められており、重機がせわしなく動き、大型トラックが行き来している。

当センターは拠点を変更し今後も復興支援を継続していく。



## 志波富有柿25ケース2000個収穫

11月30日(土)雲ひとつない秋晴れの下、当センターでは志波富有柿の収穫支援ボランティア作業を行った。この日は被災地朝倉の各地で大詰め柿の収穫が行われている。

